

「令和元年度 第二回江戸川区総合教育会議」で出た意見

日 時 令和2年2月12日（水）15時～16時

場 所 区役所4階 第一委員会室

意 見

<全体的に>

- 文章を短くし、言葉を易しくするなど、多くの人にとって読みやすくした方がよい
(古巻委員)

読みやすくするための方針

- ・漢字の熟語は、できるだけ平易な言葉に置き換える。
- ・長い文章は、できるだけ短く区切る。

<3ページ>

- (1) 「一方で、昨今は～」→「さらに、昨今は～」 (石井委員)
- (2) 「子どもが夢と希望を抱き～」→「子どもが将来に向けて夢と希望を抱き～」
(蓮沼委員)
- (3) 児童相談所についての説明を追加した方がよい (蓮沼委員)

<4ページ>

- (4) 「人材」は「人財」とした方がよい (石井委員)
→「人財」という字を使うことには慎重になった方がよい (庭野委員)
→定義を整理してどちらを使用するか判断する (区 長)

「人材」と「人財」

- ・「人財」という表記は、『人は「材料」ではなく「財（たから）」である』という考えから、広まりつつある。
- ・しかし現時点で、一般的な辞書には「人財」は載っていない。
- ・「人材」の意味は、「才知ある人物。役に立つ人物。人才。」(広辞苑第六版)

<本大綱における表記の方針>

⇒「人財」という表記はまだ一般的に定着しているとはいえない。また「人材」という表記で、意図している内容は表現できるものとする。よって、基本的には「人材」という表記を使用する。

<5 ページ>

- (5) 「家庭の無い子どもや～」→「様々な事情により家庭で暮らすことのできない子どもや～」
(蓮沼委員)

<6 ページ>

- (6) 「地域ぐるみの活動の～」の前に、「地域まつりや防災訓練など」を追加
(蓮沼委員)
- (7) 『「地域を愛する心」も～』→『「地域を愛する心」が～』
(庭野委員)

<7 ページ>

- (8) 「楽しい学校」→「楽しく安心して学べる学校」
(蓮沼委員)
- (9) 「いじめや不登校などの問題が起こらないようにするためには～」の文章をわかりやすく
(教 育 長)
- (10) 「家庭や地域と信頼関係を築くためには、教職員自身が人間性を磨き魅力ある存在にならなければならない」→「教職員自身が人間性を磨き魅力を高めることで、家庭や地域との信頼関係を築きやすくなる」
(石井委員)

<8 ページ>

- (11) 「今後の方向性」の4点目には、区内でのカヌー・スラローム競技の開催やそれにより子どもたちに育まれる郷土愛についても触れては
(蓮沼委員)